

FolderSyobel3 V8.6

1. ソフトの概要

ちょっとしたファイル操作ができる簡易ファイラーです。

2. 作者への連絡先

作者:Arihiko

メールアドレス:下記の「XYZ」を「アットマーク」に変えてメールしてください。

arihiko2023XYZkamon.ne.jp

3. 取り扱い種別

フリーソフトです。

4. 動作環境

Windows11(64bit)で動作確認しています。

圧縮・解凍機能を使わないのであれば、別途必要なソフトは必要ありません。

5. インストール・アンインストール方法

インストール方法:fsyobel.exe を適当なフォルダに置いて、実行するだけです。

アンインストール方法:fsyobel.exe を置いたフォルダごと削除すれば OK です。

copyright Arihiko since 2004

【ソフト紹介】

ちょっとしたファイル操作ができる簡易ファイラーです。

【特長】

1.プレビュー画面を内蔵してますので基本的な画像、テキスト、メディアファイルをビューすることができます。

2.お気に入りのフォルダをタブに追加して切り替えて表示できます。

3.UNLHA32.DLL,7-zip32.dll,cab32.dll(dcab32.dll),unrar32.dll,7-zip32.dll があれば LZH,ZIP,CAB,RAR,7z ファイルを展開できます。

4.7-zip32.dll があればフォルダ内のファイルを 7z 圧縮できます。

5.これらの dll ファイルは、fsyobel.exe をおいたフォルダ配下に「DLL」という名前のフォルダを作って、そこに置いてください。

【ワンポイントメモ】

フォルダやファイルの操作は Windows のエクスプローラとほぼ同等 ですので戸惑うことなく操作できると思います。

【プロローグ】

FolderSyobel3 は、コンピュータを惑星、ドライブを地上、ディレクトリ(別名フォルダ)を洞窟、ファイルを家にたとえて地下都市の構造を想定した簡易ファイラーです。

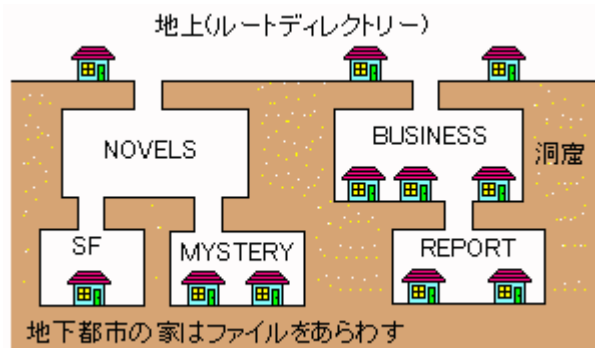
さあ惑星間転送したり、洞窟を掘ったり、家を引っ越したり、家を見てみたりしてみましょう。

【地下都市構造】

Windows ではディスク装置をドライブ(例 C:)といいます。

そのドライブの下にディレクトリ(別名フォルダ)を作ってそこにプログラムやデータなど(これらをファイルといいます)を保管します。

ドライブの一番元にはルートディレクトリがあります。
(例 C:¥)そしてその下にいくつものディレクトリをつくることができます。これらをサブディレクトリといいます。
サブディレクトリは何層にも重ねて作ることができます。
そこでこれらの関係を地下都市構造にたとえてみましょう。



左の例では、地上(ルートディレクトリ)の下に NOVELS、BUSINESS という2つの洞窟(サブディレクトリ)が掘られ、さらに NOVELS の下にも SF、MYSTERY という2つの洞窟が枝分かれしています。このようなディレクトリの構造を、階層ディレクトリといいます。
たとえば、サブディレクトリNOVELSの下のサブディレクトリMYSTERYは C:¥NOVELS¥MYSTERY のようにあらわします。
ここで¥はディレクトリとディレクトリの区切り記号です。

なおネットワークでつながった他のコンピュータでは、そのコンピュータの名前がルートディレクトリとして扱われ、共有を与えられたディレクトリ以下から第一階層のディレクトリになります。

たとえば、MYCOMP という名前のコンピュータの C:¥ABC¥XYZ¥UVW ディレクトリで XYZ 以下からを共有として与えると、それを他のコンピュータから見れば ¥¥MYCOMP¥XYZ¥UVW として取り扱うことができます。

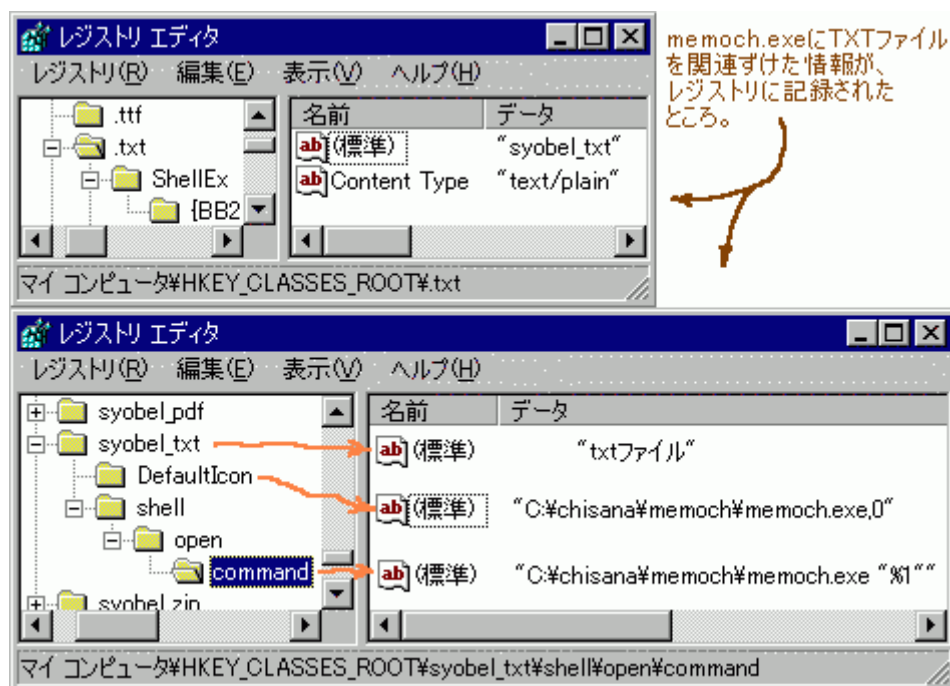
参考: 田中一郎著 早わかりMS-DOS Ver3.3 新星出版より

【起動と終了】

任意のディレクトリに fsyobel.exe を置いて管理者として実行してください。

終了はメインウィンドウ右上の×ボタンをクリックしてください。

また、終了と同時に起動ディレクトリに fsyobe.ini が自動的に作成されます。



アンインストールは、fsyobel.exe を置いたディレクトリごと削除してください。
ファイル関連付けをした場合はレジストリに関連付け内容が記録されます。
なお、レジストリはそのままにしても良いでしょう。

【システムメニュー】

フォームの左上のアイコンをクリックすると、システムメニューが開きます。

このメニューには Windows の標準メニューの他に、FolderSyobel3 独自のメニューがあって、「もう一つ FolderSyobel3 を起動」をすることができます。

【地表＆洞窟】

FolderSyobel3 では、LAN ネットワークのコンピュータを惑星、ドライブを地表、ディレクトリ(別名フォルダ)を洞窟、ファイルを家にたとえて楽しく操作するようにしています。

【地表＆洞窟の操作】

♪地表＆洞窟の選択(ドライブ＆ディレクトリの選択)

メインウインドウ左側の洞窟ツリーから目的の洞窟をクリックして選んでください。するとその右の家一覧ビューに、選んだ洞窟内の家一覧が表示されます。

また+記号をクリックするかまたはその洞窟をダブルクリックするとその下の階層洞窟が表示され、-記号をクリックするかまたはその洞窟をダブルクリックすると表示が元に戻ります。

♪洞窟を掘る(新しいディレクトリを作る)

現在いる洞窟の下に新しく洞窟を掘るときは[掘る]ボタンをクリックしてください。すると洞窟名入力ダイアログが開きますので、新しい洞窟名を入力してください。

♪洞窟を埋める(ディレクトリを削除する)

現在いる洞窟を埋めるときは[埋める]ボタンをクリックしてください。

なお、安全のために'c:¥windows' 'c:¥winnt' 'c:¥program files' 'c:¥program files (x86)'は削除できないようにしています。

なお、の右クリックによる Windows コンテキストメニューについてはこれらのフォルダも削除できてしまいますので、絶対にこれらのフォルダは削除しないでください。Windows が起動できなくなります。

♪ウインドウ・リフレッシュ On/Off

[ウインドウ・リフレッシュ On/Off]ボタンをクリックするたびに、表示内容を最新の情報に更新するの On/Off を切り替えできます。

【家の操作】

洞窟ツリーと家一覧リストの間にある分割線をドラッグすると、表示幅を変えることができますので、見やすい幅で操作してください。

♪まずは家を選ぶ(ファイルの選択)

メインウインドウ右側の家一覧リストで目的の家をクリックすると、その家を選択することができます。選択された家はハイライト表示されます。

また、家の一つ選択してそこから離れた家を[SHIFT]を押しながらクリックすると、その間にある家をまとめて選択することができます。あと、[CTRL]を押しながらクリックするとその家だけ選択したり、選択解除することができます。あと、[家を全部選択]ボタンをクリックするとその洞窟にある家を一度に全部選ぶことができます。

♪コンテキストメニュー

洞窟や家を右クリックすると Windows のコンテキストメニューを使用することができます。

♪家を開く

家をダブルクリックするかまたは[Enter]キーを押すとその家を開くことができます。

♪表札の変更

家の名前の部分をクリックすると、名前を書き換えることができます。

なおこの時、その家の型名(拡張子部分)を変えると、ファイルが実行できなくなったりするので要注意です。

【家を引っ越す、建て増す、立ち退く】

♪家の建て増し(ファイルコピー)

家を選んだら、[建て増す]ボタンをクリックします。すると建て増し先を選ぶダイヤログウインドウが表示されますので、そこから建て増し先の洞窟名を選んでください。

♪家の引っ越し(ファイル移動)

家を選んだら、[引っ越す]ボタンをクリックします。すると引っ越し先を選ぶダイヤログウインドウが表示されますので、そこから引っ越し先の洞窟名を選んでください。

♪家の立ち退き(ファイルをゴミ箱へ)

家を選んだら、[立ち退く]ボタンをクリックしてください。

なお自分の惑星での立ち退きはゴミ箱に入りますが、他の惑星での立ち退きは完全削除になります。

また、安全のために 'c:¥windows' 'c:¥winnt' 'c:¥program files' 'c:¥program files (x86)' は削除できないようにしています。

なお、右クリックによる Windows コンテキストメニューについてはこれらのフォルダも削除できてしまいますので、絶対にこれらのフォルダは削除しないでください。Windows が起動できなくなります。

【他のファイラーとのドラッグ&ドロップ】

FolderSyobel3 ではファイル(単数&複数)や、サブディレクトリを含むディレクトリごとドラッグ&ドロップの発行&受け入れをサポートしています。

♪ドラッグ&ドロップの発行

FolderSyobel3 で、選んだ家やサブディレクトリを含む洞窟ごと他のファイラーやもう一つ起動した FolderSyobel3, あるいはデスクトップやごみ箱へ、ドラッグ&ドロップすることによってコピー、移動、削除(ごみ箱へ)をすることができます。なお一度に選択できるファイルの数は 1024 個までです^^;

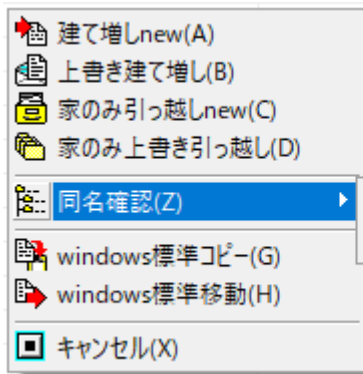
一般のファイラーでは[CTRL]を押しながらドラッグ&ドロップするとコピー、[SHIFT]を押しながらドラッグ&ドロップすると移動となります。

ドラッグ&ドロップだけのときは受け入れ側のファイラーのサポート方法によって結果が異なります。

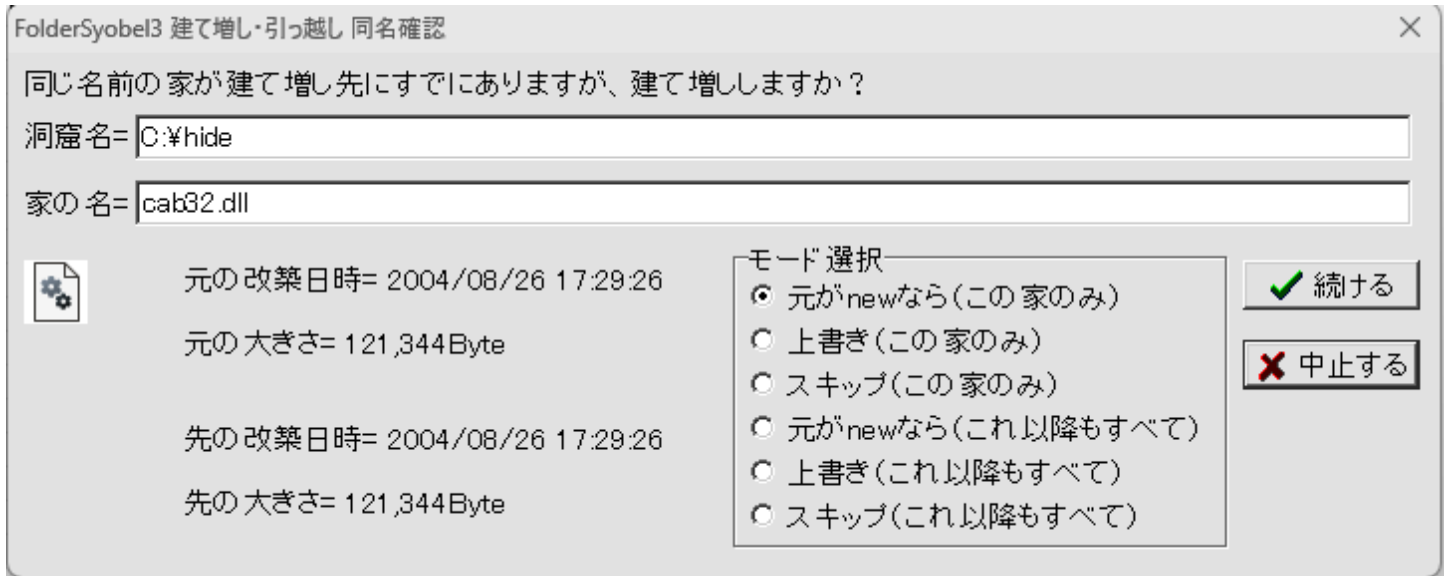
例えば Windows のエクスプローラーに対しては、同じドライブにあるフォルダにファイルをドラッグすると、ファイルは移動し、異なるドライブにあるフォルダにファイルをドラッグすると、ファイルはコピーされますので要注意です。

♪ドラッグ&ドロップの受け入れ

他のファイラーやもう一つ起動した FolderSyobel3 で選んだ家や、サブディレクトリを含む洞窟ごと FolderSyobel3 にドラッグ&ドロップすることによってポップアップメニューが表示されますので、目的の操作を選んでください。



新しい家のみ建て増し
改築日時にかかわらず建て増し
新しい家のみ引っ越し(洞窟は除く)
改築日時にかかわらず家を引っ越し(洞窟は除く)
同名確認しながら建て増し ※下図参照
同名確認しながら引っ越し ※下図参照
windows の標準コピー操作
windows の標準移動操作
ドラッグ&ドロップ操作のキャンセル



【同名確認操作】

建て増し・引っ越し先の洞窟に同名の家がなければ、このパネルは表示されずにそのまま建て増し・引っ越しします。もしも同名の家があった場合は、このパネルが表示されます。

洞窟名は、建て増し・引っ越し先の洞窟です。家の名は、建て増し・引っ越ししようとしている家の名です。

♪モード選択を以下から一つ選んで建て増し・引っ越しします

元が new なら(この家のみ)	元の家の改築日時が、先の家の改築日時よりも新しければ、この家飲のみ
上書き(この家のみ)	改築日時にかかわらずこの家のみ
スキップ(この家のみ)	この家のみ操作をスキップ
元が new なら(これ以降もすべて)	元の家の改築日時が新しければ、これ以降もすべて
上書き(これ以降もすべて)	改築日時にかかわらず、これ以降もすべて
スキップ(これ以降もすべて)	これ以降すべてスキップ

[続ける]同名確認操作を続ける [中止する]同名確認操作を中止する

【家を探す】

[家を探す]ボタンをクリックすると、家を探すダイアログウインドウが表示されますので、探したい家の名前を入力してください。

検索は現在いる洞窟を含めそこから下の洞窟を自動的に次々に探していきます。検索が終了すると検索結果一覧表が表示されます。

検索結果一覧表の中の洞窟を一つクリックすると上のテキスト欄に洞窟名が表示されます。

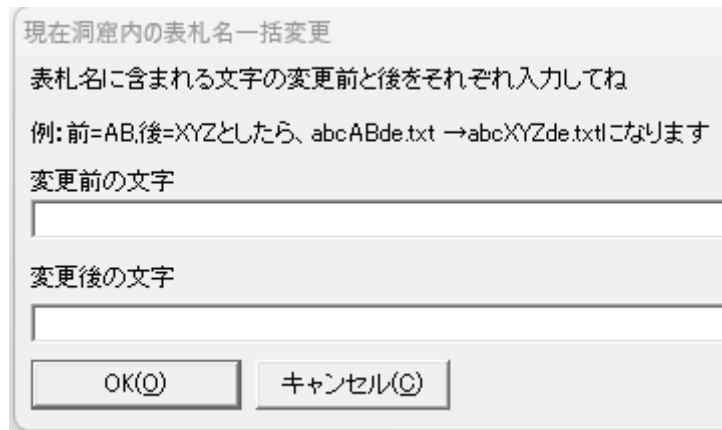
[選択した洞窟を表示]ボタンをクリックすると、その洞窟を表示します。

【家一覧のスタイル】

大きいアイコン、小さいアイコン、一覧、詳細から選んでください。

【現在洞窟内の表札名一括変更】

家の表札を一括して変更することができます。



現在洞窟内の表札名一括変更

表札名に含まれる文字の変更前と後をそれぞれ入力してね

例: 前=AB, 後=XYZ としたら、abcABde.txt → abcXYZde.txt になります

変更前の文字

変更後の文字

OK(O) キャンセル(C)

【クリップボードから家を貼り付け】

クリップボードに記憶されている家の一覧を家一覧パネルに貼り付けることができます。

【選択した家をクリップボードへコピー】

選択した家(複数選択可)をクリップボードへコピーすることができます。

【家を全選択】

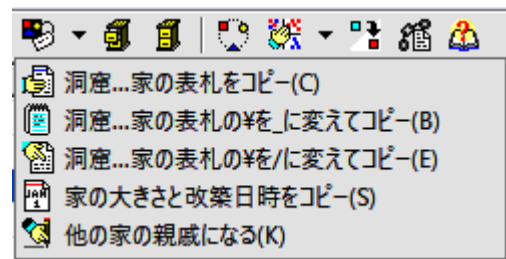
このボタンひとつで洞窟内のすべての家を選択することができます。

【立ち退き先を開く】

windows のゴミ箱を開きます。

【家の表札名コピーなど】

家を1軒選んでこのボタンをクリックすると下のようなパネルが表示されます。



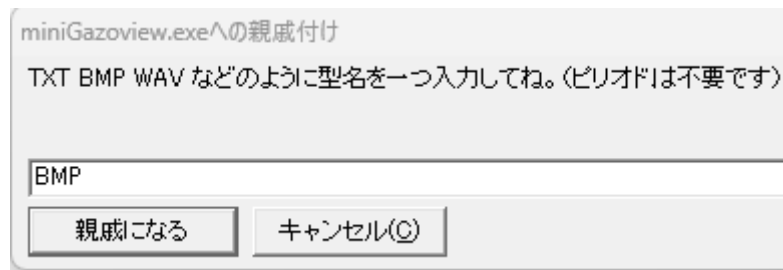
家のフルパス名をクリップボードへコピーします

家のフルパス名の¥を_に変えてクリップボードへコピーします

家のフルパス名の¥を/に変えてクリップボードへコピーします

家の大きさと改築日時をクリップボードへコピーします

家が EXE 型の場合に、親戚になる(関連付けで開く)家の型を入力するパネルが開きます。



miniGazoview.exe への親戚付け

TXT BMP WAV などのように型名を一つ入力してね。(ピリオドは不要です)

BMP

親戚になる キャンセル(C)

【表札名を変えて建て増す】

選択した家の表札名を変えて、同じ洞窟内に建て増すことができます。

【冷凍団地の閲覧、凍結、解凍】

★FolderSyobel3 を起動したフォルダに DLL フォルダを作成して、そこに_cab32.dll, 7-zip32.dll, cab32.dll, UNLHA32.DLL, UNRAR32.DLL を置くことで、各形式に対応した圧縮ファイルの解凍ができます。凍結圧縮は 7z 形式で圧縮します。

♪解凍

家一覧表リストボックスで冷凍団地を一つ選んだら、[冷凍団地を解凍]ボタンをクリックしてください。すると同じ洞窟に冷凍団地の名前の洞窟が自動で掘られて、その洞窟に冷凍団地内の家々が解凍されます。

♪凍結

[冷凍団地に 7z 凍結]ボタンをクリックします。すると冷凍団地の名前入力ダイアログウインドウが表示されますので、名前を入力すれば同じ洞窟内に冷凍団地(7z 圧縮ファイル)ができます。

【クイックビュー】

[クイックビュー On/Off]ボタンをクリックすると Image、Memo、Madia を切り替えることで画像、テキスト、メディアファイルをビューすることができます。

画像については、bmp, cur, emf, gif, ico, jpe, jpeg, jpg, png, wmf を見ることができます。

テキストについては、テキスト形式のファイルであれば読込できますが、読み込み形式は、ansi 形式です。

メディアについては、wav, wma, mp3, mpg, avi, wmv が再生できます。

クイックビュー画面を閉じるときは、もう一度[クイックビュー On/Off]ボタンをクリックしてください。

【家一覧ソート】

表札でソート、大きさでソート、家の種類でソート、改築日時でソートをすることができます。

【パネル配置(縦／横)】

洞窟パネルと家一覧パネルの配置を、縦並びかまたは横並びを切り替えることができます

【近道をつくる】

行き先の家を一軒選んだら、[近道をつくる]ボタンをクリックすると、ショートカットの作成ダイアログウインドウが表示されますので、

近道の名前(ショートカットにつける名前)、

作業する場所(実行時のディレクトリ)、

近道の場所(ショートカットを置くディレクトリ)

を指定すると、ショートカットが作成されます。

【バージョン&ヘルプ】

FolderSyobel3 のバージョンとヘルプ説明を表示します。

【最下段タブメニュー】

[タブセットを保存]:タブセットを保存しま。次回起動時にそのタブセットを読み込みます。

[現在の洞窟をタブに追加]:現在選択中の洞窟をタブに追加します(右クリックでタブから外す)

「タブ」をクリック:その洞窟へ移動、「タブ」を右クリック:その洞窟をタブセットから外す

【起動ディレクトリに保存されるファイル】

data.ini は「FolderSyobel3」のパネルの大きさなどを保存しています。

memo.ini はお気に入りタブのフォルダ名を記憶しています。

-----【エピローグ】-----

【謝辞】

- ・フォルダ・ファイルパネルは、Ken Kamiyama(Kamiken)さんの TFolderView & TFileView & TComboView Ver.2.0.5 (Delphi3)を使用しています。
 - ・ドラッグ&ドロップおよびコンテキストメニューは、HISHIAMAZON さんの TContextMenuEx and TDropSourceEx component version 2.05 を使用しています。
 - ・プレビュー表示パネルは ikki さんの「ImgLib」を使用しています。
 - ・ファイル検索機能は黒猿さんの「ファイル検索コンポーネント」及び David J Taylor さんの「TreeScanner V1.0.6」を使用しています。
 - ・ファイルをごみ箱へ送る機能は大坪保行さんの「Trashbin component version 0.2 for Delphi 2.x and Delphi 3.x」を使用しています。
 - ・GIF 画像読み込みには Anders Melander さんの「TGIFImage version 2.2」を使用しています。
 - ・PNG 画像読み込みには tarquin さんの「GLDPNG ver 3.4.3」を使用しています。
 - ・同期を取る機能は、河邦正さんの フォルダの内容を監視するコンポーネント DirMontr.pas を使用しています。
 - ・スプリットバーは Brad Stowers さんの「TdfsSplitter v1.07」を使用しています。
 - ・並び替え機能付の StringGrid は、H.Kishi さんの「TStrSortGrid component Version 0.1」を使用しています。
 - ・フォルダー選択ダイアログコンポーネントは、Hidemi Oya さんの『RegisterComponents('Hidemi',[TFolderDialog]);Version 1.00 '97/09/20』を使用しています。
- 上記の皆様大変ありがとうございます。

【開発メモ】

「4G 以上のファイルのサイズを取得する」

//ファイルサイズをバイト単位で返します。見つからない場合は-1 を返します。

関数 FileSize(fileName:wideString):Int64;

var

sr:TSearchRec; FindFirst(fileName、faAnyFile、sr)= 0 の場合に

開始し、結果:= Int64(sr.FindData.nFileSizeHigh)shl Int64(32)

+ Int64(sr.FindData.nFileSizeLow)else result:= -1; FindClose(sr);

【開発環境】

Delhi5 で作りました。Windows11 で動作確認しています。

【変更履歴】

2004/09/17 V1.0 Delphi5 にて初回原型作成。

2004/09/18 V1.1 ファイル検索中止機能を追加。

2004/10/09 V1.2 260 文字を超えるような長い名前のフォルダを表示できなかった
バグを訂正(フォルダ・ファイルパネルを Kamiken さん作成のコンポーネントに
変更しました)。

2004/10/09 V1.3 フォルダパネルでも右クリックコンテキストメニューが
使えるようになりました。

2004/10/11 V1.4 フォルダパネルへもフォルダ・ファイルをドロップできる
ようになりました。

2004/10/11 V1.5 新規フォルダを作成しても更新しなければ表示できなかった
バグを訂正。

2004/10/12 V1.6 V1.5 で新規フォルダ作成更新表示バグが訂正しきれていなかったバグを修正。

2004/10/12 V1.7 ファイルサイズの並べ変えがうまくいってなかったのを修正。

2004/10/14 V1.8 最新の情報に更新を On/Off できるように拡張。

2004/10/15 V1.9 フォルダパネルからのフォルダドラッグがうまく行かなかったバグを訂正。ファイルパネルルート直下のフォルダをドロップするとフリーズしてたバグを訂正。

2004/10/16 V2.0 タブクリックでのフォルダチェンジがうまく行っていなかったバグを訂正。

2004/11/01 V2.1 ファイルサイズが 2 ギガを超えると表示がおかしくなっていたので応急処置として 4 ギガまで正常に表示できるようにしました。

2004/11/08 V2.2 CDドライブのファイル情報が読み取れなかったバグを訂正。

2004/11/23 V2.3 フォルダパネルで CDドライブのサブフォルダが読み取れなかったバグを訂正。

2004/12/06 V2.4 ドラッグ&ドロップによるフォルダ・ファイルコピーで空のフォルダが削除されていたバグを訂正。

2005/01/04 V2.5 ファイルパネルでのダブルクリックによる関連実行がうまくいってなかったバグを訂正。

2005/03/20 V2.6 初期ディレクトリを FolderSyobel3 自身を置いているディレクトリに変更。

2005/05/01 V2.7 動画視聴機能を廃止(仕様変更ですのでご了承ください)。

2005/06/06 V2.8 コダック Photo-CD 形式(.PCD)と PhotoShop の psd 形式の画像が読み込めるようになりました。

2005/07/27 V2.9 フォルダおよびファイルパネルでマウスのドラッグがまれに誤作動してたので、今まではマウスが 2 ピクセル以上ドラッグしたらドラッグと認識していたのを 4 ピクセル以上ドラッグしたらドラッグと認識するように変更。

2005/12/29 V3.0 ファイルのドラッグ発行機能の内部ルーチンを変更しました。これによりドラッグファイルの選択が若干速くなりました。

2006/01/14 V3.1 ファイル検索結果を一覧表にしました。また、クリップボードにコピーされたフォルダ・ファイルを貼り付けできる機能を追加しました。

2006/01/15 V3.2 クイックビューパネルを独立表示できるようにして、しかもサイズ変更もできるようにしました。

2006/01/16 V3.3 クイックビューパネルを最前面表示にしました。

2006/01/21 V3.4 ファイル検索結果一覧表のカラム幅を変えられるようにしました。

2006/01/23 V3.5 クイックビューパネルをフォルダ内表示に仕様変更しました。

2006/01/25 V3.6 ドロップの受け入れ時のポップアップメニューの表示位置がずれていたのを訂正。

2006/11/19 V3.7 本ソフトにファイルをドロップした時に Windows エクスプローラ標準のファイルコピー機能を選べるようにしました。

2006/11/23 V3.8 V3.7 の更新内容で余分な進行パネルが表示されていたバグを訂正。

2006/11/25 V3.9 本ソフトへのドロップによるファイルコピーで、進行状況パネルの表示をシンプルにして、少しでもコピー時間短縮するようにしました。

2006/12/03 V4.0 同一フォルダ内でのファイル名一括変更機能と、選択ファイルのコピーや移動の機能を追加しました。

2006/12/04 V4.1 新規フォルダ作成などのボタンクリックがうまく反応しなかったバグを訂正。

2006/12/10 V4.2 ドロップによるファイルコピーの標準コピーを廃止し、その

かわり従来のコピーで空フォルダがコピーされなかったバグを訂正しました。

また、移動(new)と移動(上書き)を廃止し、Windows 標準の移動に変更しました。

2007/06/02 V4.3 拡張子(.7z)のファイルも 7-zip32.dll で解凍できるようにしました。

2007/12/25 V4.4 8文字まで(今までは4文字まで)の拡張子の関連付けをできるようにしました。

2020/05/17 V4.5 解凍ができなかったバグを訂正。リストビューのカラム幅を記憶できるようにした。登録フォルダを削除する時に確認ダイアログを表示するようにした。

2020/05/26 V4.6 ファイルリストパネルをグリッド表示にしていたので、ファイルをマウสดラッグで選択した時マウスカーソルがデスクトップ画面の右端に飛んで行っていたので、グリッド表示をやめてもとに戻した。

2020/05/27 V4.7 ファイルリストパネルを再びグリッド表示にし、フォルダ記憶タブの保存をアプリ終了時から保存設定ボタンに変更。

2020/05/27 V4.8 クイックビューパネルの高さを記憶できるようにした。

2022/01/06 V4.9 ファイルリストのマウスオーバーでクイックビューできるようにした。

4G以上のファイルのサイズが正しく表示されなかったバグを訂正。

2022/01/08 V5.0 フォルダツリーとファイルリストのパネル配置を左右と上下に切り替えできるようにした。

2022/01/08 V5.1 フォルダツリーとファイルリストのパネル配置を左右／上下を切り替えたときに、左右配置でスプリッターがフォームの左端にへばりついてしまったバグを訂正。ファイルリストのファイルサイズの表示をバイトからKBに変更。

2022/01/10 V5.2 フォルダ参照履歴を10回から100回に増やした。

2022/01/13 V5.3 クイックビューを固定パネルからマウス位置に表示する移動パネルに変更。ファイルリストのファイルサイズ表示をKBからバイトに変更。

2022/01/15 V5.4 FolderSyobel3に他のファイラーからファイルをドラッグした時のメニューに windows 標準のコピーを追加。

2022/01/17 V5.5 並べ替えに、存在しない「読み取り専用」があったので削除。一つの選択ファイルを名前を変えてコピーする機能を追加。

2022/01/18 V5.6 一つの選択ファイルを名前を変えてコピーする時、フォルダ作成になってしまうバグを訂正。

2022/01/20 V5.7 ファイルリストの項目並べ替えを昇順にしたのに、フォルダツリーでフォルダを切り替えたら、降順になってしまうバグを訂正。

2022/01/23 V5.8 クイックビュー画面がマウスにかぶっていたので、かぶらないようにした。

2022/01/23 V5.9 フォルダツリーとファイルリストパネルのレイアウトが縦型の時、クイックビュー画面の位置がマウスと遠かったので近くした。

2022/02/14 V6.0 クイックビューをフォルダパネル内に固定式(縦100×横100)に変更。

2022/04/26 V6.1 検索フォームのサイズを変更できるようにした。

2022/12/05 V6.2 ファイル・フォルダのコピー状況をフォームのタイトルに表示

2023/08/24 V6.3 ini ファイルを読んでフォームの位置を再現しようとしたときに、使用モニターの解像度範囲外ならば、第一モニターの左上から右へ10下へ10の位置にフォームを表示するようにした。

V6.3+α⇒ ノートパソコン note-dai に Delphi5 を再インストールして、構築。

V6.4 2024/01/14 パスワードダイアログの[OK]ボタンの右クリックで現在時刻 'yyyyMMdd-HH:mm:ss' をエディット欄にセットできるようにした。

V6.5 2024/02/07 関連付けのレジストリのファイル名を”で囲むようにした

V6.6 2024/02/17 クイックビューパネルを独立させた

V6.7 2024/02/18 クイックビューにテキストニューを切り替え表示できるようにした

V6.8 2024/03/03 選択ファイル・フォルダをクリップボードへコピーする機能追加
V6.9 2024/11/09 パスの取得変換に「¥(円記号)」を「_」に変えて取得機能追加
V7.0 2025/03/28 同名ファイルの確認機能追加。フォルダ・ファイル縦横配置復活。
V7.1 2025/03/29 ドラッグ&ドロップメニューにファイルのみ移動メニュー追加。
V7.2 2025/03/30 ドラッグ&ドラッグでのフォルダ・ファイルコピー・移動処理で、
エラーが発生したとき、そのつど警告ダイアログを出していたのを最後に一括して
メッセージ一覧表示するように変更した。
V7.3 2025/04/04 ドラッグ&ドラッグでのフォルダ・ファイルコピー・移動処理で、
どのファイル処理をしているのか表示するようにして、それ以降の処理をキャンセル
もできるようにした。
V7.4 2025/04/05 同名確認コピー処理のパネルにファイルの関連図けられたアイコン
を表示するようにした。
V7.5 2025/04/06 ドラッグ&ドロップでのファイルコピー操作の状況表示をすべての
ファイル総数を一括して進行表示するようにした。
V7.6 2025/04/09 動画プレビューパネル追加。ファイルリストでのドラッグ&ドロップの
選択ファイル数の制限を 1024 から 65536 に増やした。
V7.7 2025/04/14 ファイルのドロップ処理の内部ルーチンをスレッド処理にした。
V7.8 2025/04/15 フォルダパネルへのファイルドロップで「標準コピー・移動」以外の
コピー・移動が効かなかったバグを訂正。
V7.9 2025/04/19 コピー処理中パネルのサイズと残りの表示位置を入れ替えた。
V8.0 2025/04/23 ファイルリストへのドロップ処理で、フォルダ・ファイル検索状況
パネルに検索状況を表示するようにした。
V8.1 2025/04/24 内部処理ルーチンの変更にともない、ファイルリストへのドロップ
処理で、フォルダ・ファイル検索状況パネルに検索状況の表示をやめた。
V8.2 2025/05/03 コピー new 等でメモリ不足エラーになっていたバグを訂正
V8.3 2025/05/05 内部ルーチン(ファイルのみ移動)変更
V8.4 2025/05/06 ドロップ操作メニューの同名をサブメニューにした
V8.5 2025/05/19 ドロップメニューの「コピー new」等にアイコンを付けた
V8.6 2025/12/19 7z 圧縮ファイルの解凍・圧縮機能追加。ショートカット作成機能追加。